

2026年 3月 おおすこどもかん



【開館時間】

9:00~12:00 / 13:00~17:00



大洲こども館

TEL047-376-1212

市川市大洲 4-18-3

(こども発達センター内)

日程や内容については、変更する場合があります。

※ 3/4(水)5(木)6(金) <終日>スヌーズレン開催 のため予約者のみ来館可能です。予約されていない方は、入館できません。ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3 	4 ※予約者限定日<終日> (スヌーズレン)	5 ※予約者限定日<終日> (スヌーズレン)	6 ※予約者限定日<終日> (スヌーズレン)	7
8	9 休館日	10	11 ◎1・2の3でおはよー ◇たのしく絵本!	12	13 ☆あつまれ赤ちゃん WEB申込み	14
15	16 休館日	17	18 ◎1・2の3でおはよー ◇たのしく絵本!	19	20 休館日	21
22	23 休館日	24	25 ■いろいろ工作	26	27 ■いろいろ工作	28
29	30 休館日	31				

☆「あつまれ赤ちゃん」

(市内在住の4か月～1歳の誕生日月までの赤ちゃんと保護者)

- ・日時：13日(金) 10:30～11:30頃
- ・持ち物：バスタオル、母子手帳 持参
- ・受付：事前申込み 先着15組
- ・予約方法：市公式WEBサイトのイベントポータル「大洲こども館」を選択してお申込み下さい。



●毎月1日の10時より開始します。

★小学校 新1年生の保護者のみなさまへ



4月1日からは、お子様1人でもお友達同士でもこども館で遊べます。(入館の際、氏名・住所を自分で書く事になりますので、ご配慮をお願いします) 3月31日までは、大人の方の付き添いをお願い致します。4月は新1年生を歓迎する行事も行いますので、是非ご参加ください。

■「いろいろ工作」

25日(水)・27日(金) 15:00～16:00頃
小学生以上 先着10人 「お楽しみ工作」



** 安心してご利用いただくために **

- ・室内でも水分補給は大切です。水筒・ペットボトルなどフタのできる飲み物を持ってきてください。
- ・こども館を利用される方は衛生上、靴下の着用をお願いします。～ご協力をお願いいたします～

☞ 事業によっては、広報活動に利用する為の撮影同意をお願いする事がございます。ご理解・ご協力をお願い致します。

◆子育てなんでも相談◆

開館時、お子さんの発達、育児、生活習慣などお気軽にご相談ください。(現場状況によって、お待たせしてしまうこともあります。ご了承ください。)



◆◆24時間 365日 全国共通相談ダイヤル◆◆
☎189

発信された電話の市外局番から該当地域を特定し、管轄する児童相談所に電話を転送します。0～18歳までのお子さんとその保護者の子育てに関する相談を、24時間365日お受けしております。



詳しくは
市川市役所ホームページ「こども館」検索

風水害時・災害時・緊急時のこども館の対応

◎利用者の安全確保の為、ご協力をお願いします。

- ① 震度5弱以上の地震が発生した場合、保護者のお迎えをお願いします。(電話番号が言えるように確認しましょう。)
- ② 風水害時は、避難情報【高齢者等避難 警戒レベル3】以上でこども館は臨時休館になります。詳しくは館内の掲示、ホームページをご確認ください。
- ③ こども館から離れ避難する場合には、災害時伝言ダイヤルを利用する予定です。

*伝言ダイヤルの聞き方

171▶2▶047-376-1212 (大洲こども館)



★スヌーズレンのおしらせ★

3月4日(水)・5日(木)・6日(金)

1部	10:00~10:45	定員4組
2部	11:10~11:55	定員4組
3部	13:30~14:15	定員4組
4部	14:40~15:25	定員4組
5部	15:45~16:30	定員4組

※3月6日(金)は、4部までで終了致します。



かんぜんよやくせい
完全予約制



よやく 予約は 2月21日(土)から 来館または 電話(10:00~16:30)で 承ります。

注意事項

- 対象は、市内在住の幼児と保護者です。
 - 1組45分間のスヌーズレンコーナーのみの利用となります。
 - 当日は、予約のない方のご利用はできません。
 - 子ども1名に対して保護者1名での来館をお願いいたします。
 - 都合により、中止、休館になる場合があります。
- ご理解ご協力の程よろしくをお願いいたします。
- 詳細は、大洲こども館まで。(047-376-1212)



スヌーズレンとは

薄暗い部屋で、音や光や触覚などから、心地良い感覚の刺激を受けて、楽しむ活動です。外界を探索し、心地良くまどろみながら、マットの上に寝転んだり、天井などに映る光を眺めたりなど、リラックスして過ごします。どんなタイプのお子さんも、楽しめる環境となっています。